

平成29年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月2日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 馬場 功淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部長 (氏名) 長谷部 潤 TEL 03(6721)7770
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第3四半期の連結業績（平成28年10月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第3四半期	38,200	△40.8	9,844	△61.6	10,020	△60.0	6,446	△56.3
28年9月期第3四半期	64,579	—	25,622	—	25,079	—	14,746	—

(注) 包括利益 29年9月期第3四半期 6,773百万円 (△53.9%) 28年9月期第3四半期 14,706百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第3四半期	51.45	50.29
28年9月期第3四半期	118.98	114.93

(注) 平成28年9月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第3四半期	72,146	66,899	92.7
28年9月期	72,301	62,149	86.0

(参考) 自己資本 29年9月期第3四半期 66,898百万円 28年9月期 62,148百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年9月期	—	0.00	—	—	—
29年9月期（予想）	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年9月期の連結業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△35.1	11,000	△65.5	11,000	△64.8	7,500	△63.8	60.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年9月期3Q	127,442,000株	28年9月期	126,305,000株
② 期末自己株式数	29年9月期3Q	1,776,999株	28年9月期	1,776,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年9月期3Q	125,283,397株	28年9月期3Q	123,937,943株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和等を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の政権交代による世界経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動等の影響により先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの業界におきましては、株式会社矢野経済研究所の「スマホゲーム市場に関する調査(2016年)」によると、国内スマートフォンゲーム市場は平成29年度には前年度比101.6%の9,600億円に達し、安定成長を続けることが予想されております。また、The Goldman Sachs Group, Inc.の調査によると、VR(仮想現実: VirtualReality)のハードウェア及びソフトウェアの世界市場規模は、平成37年までに590億ドルに達すると予測されております。

当社グループにおきましては、スマートフォン向けの既存ゲームについてはユーザとのエンゲージメントを高めることを意識し、新規ゲームについてはその投入に向けて注力してまいりました。また、VRを具現化するHMD端末(頭部装着型表示端末)向けサービスへの注力も進めており、様々な開発実験を行ってまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、当第3四半期連結会計期間において、韓国向けに「ドラゴンプロジェクト」、国内向けに「プロ野球バーサス」の配信を開始いたしました。また、「クイズRPG魔法使いと黒猫のウィズ」や「白猫プロジェクト」といった既存ゲームに関しましては、TVCMやオンライン動画プラットフォームにおけるプロモーション、コラボカフェ等のリアルイベントを実施することでユーザのエンゲージメントを高めるサービス運用をしてまいりました。

HMD端末向けサービスでは、PlayStation VR向けに「Fly to KUMA」「STEEL COMBAT」「VR Tennis Online」、Oculus Rift向けに「Dig 4 Destruction」「Fly to KUMA MAKER」「COLOPL VR GARAGE」「TITAN SLAYER」、HTC Vive向けに「TITAN SLAYER」の配信を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は38,200百万円(前年同四半期比40.8%減)、営業利益は9,844百万円(同61.6%減)、経常利益は10,020百万円(同60.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,446百万円(同56.3%減)となりました。

なお、当社グループにおける報告セグメントはモバイルゲームサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は58,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,343百万円減少いたしました。これは主に、法人税等及び配当金の支払等に伴い現金及び預金が減少したことによるものであります。

また、固定資産は13,732百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,189百万円増加いたしました。これは主に、出資に伴い投資その他の資産が増加したことによるものであります。

以上の結果、総資産は72,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ154百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,812百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,916百万円減少いたしました。これは主に、法人税等の支払に伴い未払法人税等が減少したことによるものであります。

また、固定負債は434百万円となり、前連結会計年度末に比べ11百万円増加いたしました。これは主に、資産除去債務が増加したことによるものであります。

以上の結果、負債合計は5,247百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,904百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は66,899百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,750百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、平成28年11月9日公表の「平成28年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,556	47,616
売掛金	7,600	5,937
たな卸資産	271	388
その他	1,382	4,524
貸倒引当金	△52	△52
流動資産合計	61,757	58,414
固定資産		
有形固定資産	1,378	1,874
無形固定資産		
のれん	1,968	1,321
その他	75	58
無形固定資産合計	2,043	1,380
投資その他の資産	7,121	10,477
固定資産合計	10,543	13,732
資産合計	72,301	72,146
負債の部		
流動負債		
未払金	4,559	3,048
未払法人税等	3,776	24
その他	1,393	1,739
流動負債合計	9,728	4,812
固定負債		
資産除去債務	416	425
その他	6	8
固定負債合計	423	434
負債合計	10,152	5,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,384	6,432
資本剰余金	6,143	6,191
利益剰余金	54,261	58,591
自己株式	△4,642	△4,643
株主資本合計	62,147	66,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	327
その他の包括利益累計額合計	0	327
新株予約権	0	0
純資産合計	62,149	66,899
負債純資産合計	72,301	72,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
売上高	64,579	38,200
売上原価	27,880	20,842
売上総利益	36,699	17,357
販売費及び一般管理費	11,077	7,513
営業利益	25,622	9,844
営業外収益		
受取利息	9	8
有価証券利息	5	15
為替差益	-	417
雑収入	3	11
営業外収益合計	19	452
営業外費用		
投資有価証券評価損	-	242
為替差損	559	-
雑損失	2	34
営業外費用合計	561	277
経常利益	25,079	10,020
特別損失		
関係会社株式評価損	209	349
特別損失合計	209	349
税金等調整前四半期純利益	24,869	9,670
法人税等	10,163	3,224
四半期純利益	14,705	6,446
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△40	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	14,746	6,446

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	14,705	6,446
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	327
その他の包括利益合計	1	327
四半期包括利益	14,706	6,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,747	6,773
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第2四半期連結会計期間において、コロブラネクスト4号ファンド投資事業組合を組成し、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループにおける報告セグメントはモバイルゲームサービス事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。